

高等部産業現場等における実習終了

実習を終えた生徒の声

今回は、11月5日（月）～11月16日（金）に行われた高等部の「産業現場等における実習」についてお伝えします。

2・3年生は校外実習（2年生は5日間）、1・2年生は校内実習（2年生は5日間）を行いました。実習を終えた各学年の生徒の感想を載せました。今後の参考にいただければと思います。

私はウエス班に所属し、活動しました。仕事の内容は古着の裁断と古着の仕分けでした。やりがいは、評価してもらって先生方からほめられたり、指摘をしてもらったりして、それがモチベーションにつながりました。

仕事を通して、大切だと思ったことは、コミュニケーションが大切だと思いました。理由は、質問して間違いを減らせるし、理解して手順も覚えられるので、聞いてみるのが大切だと思いました。

頑張ったことは、丁寧さと効率を意識して、実習に取り組んだことです。改善点は、普段の生活から意識をして仕事をする体力をつけることです。

今後の自分の目標は、来年は校外実習もあるので学んだことを忘れず頑張ることです。

（高等部1年：男子）

11月13日から15日までの3日間、ほくは「自立生活きらきら」というところに行きました。仕事は、フックかけとはりがねおりをやりました。フックは前にミントでもやったことのある仕事でした。すぐにできました。はりがねを、じょうぎに合わせて二つにおける仕事でした。簡単でしたが、数が7000本くらいありました。食パンのふくろをしぼるために使うそうです。

昼休みは、先輩がカラオケを歌うというので順番に歌いました。僕は青いサンゴしょうを歌いました。1日目は、木内先生がいましたが二日目と三日目は一人だけだったので寂しかったです。でも、きらきらの先生や先輩たちがやさしくいろいろ教えてくれました。先輩たちが長い時間集中して仕事をしているのを見て、僕もがんばりました。この経験を活かして、これからも、作業でいい仕事ができるようになりますががんばりたいです。

（高等部2年：男子）

僕は、いわき希望の園に行きました。僕は、体調をくずさずに10日間、通うことができました。僕の目標は、「話を聞いて、仕事をがんばる」でした。毎日、ウォーキングやゴムパッキングはめをしました。仕事をたくさんいねいにしたので、ほめられました。頑張ってよかったです。

実習の後半には希望の園のスケジュールに合わせてトイレに行けるようになり、利用者さんと一緒に色々な活動ができるようになりました。実習中、一番楽しかった活動は、馬が希望の園にきたことです。「馬はこわいなあ」と思っていたのですが、先生に言われて馬に乗る体験をしました。馬は怖くありませんでした。

これからの目標は、昼食を残さないで食べることです。希望の園では時々残してしまったので、残さず食べて、もっと体力をつけたいです。

（高等部3年：男子）